

事例Ⅱ

コロナ禍での「親プロ」講座の工夫について

2021年1月19日（火）
第2回「親プロ」ファシリテーターステップアップ研修

1 福山市内の実施状況

2019年度12月末時点	実施：52件	1,092人
	申込：62件	
2020年度12月末時点	実施：14件	139人
	申込：30件	※内12件は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 延期または中止

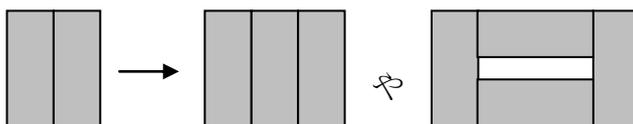
2 講座実施時の工夫

（1）対応方法をまとめ担当者と共有

- ・主催者への依頼（申込時や打ち合わせ時）
- ・ファシリテーターへの依頼（依頼時や講座当日）
- ・講座内容の工夫

（2）各講座に合わせた工夫

- ・机の配置を工夫し距離を保ち密にならないスタイルでの実施



- ・意見交流はグループ分けをするのではなく大きな輪になり、ファシリテーターと対話式で全体で話し合いを進める
- ・意見交流は話すのではなく見ることで交流ができるよう通常より大きい付箋を準備
- ・No. 28, No. 29 など絵本を使用するプログラムを実施する際の工夫
- ・参加者の追跡ができるよう名簿の作成を行う